

救援物資のご提供ありがとうございました

東日本大震災石巻・女川救援ボランティアレポート

【概要】

平成23年4月29日～5月1日にかけて神奈川事業本部として救援物資の運搬及び今後の継続支援に向けての現地調査の目的で救援ボランティアに行った。

鎌倉事業所の1.5t車を借用し、横浜事業所の竹内（基金訓練修了生で現在労協横浜事業所で仕事おこしに取り組んでいる）と高成田の二人で石巻（労協石巻地域事業団・NPO東北フェアートレード）、女川（労協女川地域事業団）を回る。

4月29日夜10時半に池袋の本部を出発し、30日早朝6時半に石巻地域事業団、8時に女川地域事業団で救援物資を届ける。その後九時過ぎに東北フェアートレードに着き、残りの救援物資をすべて引き取ってもらい、その後彼らのボランティア活動に1日参加する。ボランティアの内容は牡鹿半島の漁村での炊きだしと、個人宅で避難している高齢者宅への物資の配達、全国から届く救援物資の積み降ろし等であった。途中神奈川事業本部の継続支援のため拠点として検討している「木の屋石巻水産」の空きビルを午後2時に視察、また夜6時から石巻市役所にて石巻市災害対策会議、7時より石巻専修大学にて石巻ボランティア対策会議に東北フェアートレードを支援する石巻専修大学の李東勲准教授に連れられ参加。夜10時半に石巻を発ち、5月1日早朝6時には鎌倉事業所に戻る。

【救援物資】

- ・三浦市救援物資（三浦市民より提供され、市長より運搬を依頼）
主に水やトイレトペーパー、オムツ等50箱
- ・ワーカーズコープ・キュービック（かながわフロンティア・ネットワークの呼びかけに応じ組合員より提供）
主に衣類やタオル等
- ・労協本部（全国の組合員より提供）
食材や調味料など（石巻事業団での瓦礫撤去作業のため全国より応援に入った方の食料）
- ・神奈川事業本部各事業所（たんぽぽで利用者家族等より提供）
衣類やオムツ